

# 全学年・全クラスで取り組むようになった性教育の実践

足利市立葉鹿小学校教諭 原 五郎作

## 1. はじめに

性教育の必要性については、ここで言うまでもなく、誰もがよく知るところである。しかし、性教育を、学年の発達段階に即し、確実にやっているかとなると「ハイ」と答える人は、少ないのではなからうか。実は私も、本校に来るまでは、性教育の授業は見たものの、実際に行なったことはなかったからである。

本校では、5年来、2月を性教育実施の月として、その研究に取り組んでいる。性は、いわば子どもの陰の部分であり、その実態には、不明確な部分を多分に含んでいる。それだけに、研究を通して明らかになったことも多いが、ここでは標題にあるように、本校が全校あげて、どのクラスも確実に実施するようになった過程にしばって、述べてみたい。

言うまでもないことだが、教育は計画的な営みである。特に、性教育のように、週時間割にも位置づけられていないものは、実施時期・教材教具等の位置づけが大切となる。本校が毎年、続けて実施できたのは、そうした面を含め、およそ次の理由による。

- (1) 教育計画への位置づけ ・ 毎年2月の現職教育に、指導法研究を入れている。
- (2) 資料等の積み重ね ・ 学年別に「単元袋」に保管してある。
- (3) 保護者の協力 ・ 授業参観日等を使用したり親子の対話を促している。

## 2. 実施方法

### (1) 教育計画への位置づけ

過去5年間、現職教育に「性教育」の指導法研究が入っている。ここでは4月の初頭に、低・中・高学年各々1名の研究授業担当者が選ばれる。3学期が始まると早速、各ブロックごとに、授業についての検討が行われる。

学年別内容については、下記のように計画されている。例年行っていることの強みと、全校あげての取り組みであり、養護教諭の協力を得やすいという利点もある。

学級指導（性教育）年間指導計画（1・3・5年の例）

葉鹿小学校

学年	主題名	ね ら い	指 導 内 容	実施期間
1年	きれいなからだ	○体のつくりや働きについて 初歩的な理解をさせるとともに体や衣服を清潔にする習慣を養う。	○男女の体の違い ○体の各部の名称と主な働き ○正しい用便の仕方と始末 ○体や下着を清潔に保つ	2月
3年	からだ（性器）をきれいに	○体を清潔に保つことに関心を持たせ、生命と深いかわりを持つ性機能を知らせ、性器を常に清潔	○性器の清潔の必要性 ○性器を大切に必要性 ○清潔保持の方法	2月

		にしようとする態度を養う。	○実践への習慣化	
5年	初潮の心構え(女子のみ)	○女性の体の変化と役割を知り初潮について正しい態度を養う。	○女性の体の変化 ○月経の起こる仕組み。手当て ○月経時の体の清潔	9月
	体の変化	○第二性徴について正しく理解させるとともに、発育発達に個人差のあることを分からせ、不安・悩みを解消させる。 男女がお互いの特性について知り、協力し合う態度を育てる。	○男女の第二性徴 ・身長・体重の変化 ・変声 ・発毛 ・筋肉 ・乳房の発達 ・体の丸み ・精通と初潮	2月

## (2) 資料の積み重ね

研究授業が終わると、その時に使用した資料は、指導案やアンケートまでを含め、全てを単元袋に入れることにしてある。研究授業は1クラスだけだが、他の2クラスは、この単元袋を教室に持っていけば、いつでも授業が出来るのである。授業を見ている上に、研究討論もしてあるので、自信を持ち、より精選した形の授業ができるのである。

現在ではこれが、全学年別に揃っているので、今年度の研究は、こうした資料・反省をもとに組み立て、発展させることが可能である。

下 3年の授業で使用した資料(板書以外全)

尚、資料はすべて保健室で養護教諭が管理している。右の写真の授業では、板書以外の図標・カード全てと、OHP・スライド等、時には録音テープが含まれる。

また、授業を深めたり、発展させたりできるよう、次の資料も用意してある。

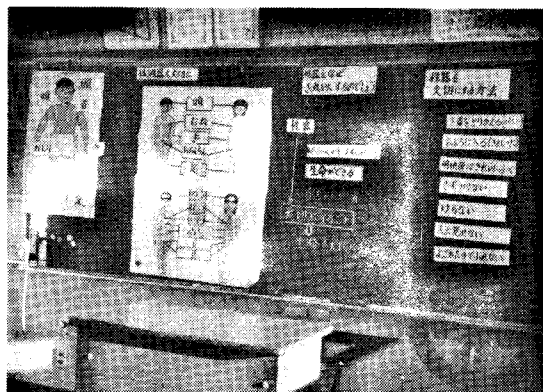
○学年別 性教育読本「のびゆく子ども」

50冊(学級貸出し用)

○性教育OHPシート 単元別 全40枚

○性教育スライド、初潮前、初潮期、男の子の性 3シリーズ 各24枚

○新しい性の指導スライド、低・中・高男・高女 4シリーズ 各24枚



## (3) 保護者との協力体制

性教育は本来、家庭教育で行われる分野だと思う。学校で行っても、その実践には、保護者の協力は不可欠である。研究授業の後で行う、他のクラスで、最も効果的な授業の場は、授業参観の時である。本校では、2月中旬に参観日が設けられているので、この日に授業が行われることが多い。授業後の学級懇談で「性教育」が取りあげられることは、いうまでもない。

性教育の授業後、その理解と協力、親子の対話をねらって、下記のようなアンケートを出すことになっている。これによって保護者は、子どもが何を、どのように学習したか、また、どんな感想を持ったか、保護者として、何をしなくてはならないのかを、知ることができる。

アンケートは、学校として、全児童分印刷される。授業をしないと配ることができず、そのクラスだけが取り残された気持ちにさせられる。

保護者殿

平成元年2月14日

足利市立粟鹿小学校  
校長 小出丈夫  
3年担任一同

## 「からだ(性器)を大切に」の指導についてのお知らせとお願ひ

本校では、6.1年度から全学年指導計画にそって、性に関する指導を学級指導で実施致しております。3年生では「からだを大切に」という主題で下記のような内容を話しました。学校での指導後、家庭に帰ってからいろいろと話しがでると思います。つきましてはおよその指導内容についてお知らせいたしますので、お含みのうえ児童と話し合い、ご利用いただけると幸いです。

### 記

#### 指導のねらい

1. 生命誕生と深いかわりを持つ、性器の名称と機能について知らせ、性器を大切にしようとする態度を養う。

#### 内容

1. 体の特に汚れやすい部分について話し合い、とくに、排泄器官との関係から、性器を、清潔にしなければならぬかを話し合う。
2. 性器のしくみについて
  - \*性器という名称(おちんちん(2年時)一性器(3年時))
  - \*男の子と女の子の性器のしくみの違い
    - ・精巣(赤ちゃんのもとを作る)
    - ・陰茎(ペニス)
    - ・卵巣(赤ちゃんの卵ができる)
    - ・子宮(赤ちゃんが育つ大切な部屋)
  - \*性器には、外から見える部分と身体の中にあって見えない部分がある。
  - \*性器は、将来お父さん、お母さんになるために大切な所であり、命の生まれる所
3. 性器を大切(清潔・安全)にするためにはどうしたらよいか話し合う。
  - \*毎日の入浴
  - \*きれいな下着
  - \*よごれた手でふれない
  - \*用便後のふきかた 前から後ろへ
  - \*人に見せたり、見ようとしぬい
  - \*乱暴に扱わない(けらぬい、傷つけない)
4. 実践させるための手だてとして、家庭で清潔カードをつける。

#### お願ひ

ご家庭でも生命誕生に結び付け正しい考えが持てるよう話し合ってください。

### 3. 実践例（3年）

#### —おうちのかたへ—

次の実践例は平成元年2月14日に行ったものである。3年の例だけであるが、今まで述べてきたことと合わせ、どう展開させてきたか、読みとって戴きたいと思う。尚、当日は「交流研究会」として、他校から24名の参観のあったことを付記する。

性に関する授業についてつぎのことにお答えいただければ幸いです。

#### 1. お子さんは、授業のことを家で話しましたか？

聞かれなくても、自分から話してくれた

・聞かれてから、話してくれた

・なにも話してくれなかった

・その他（ ）

#### 2. 授業の感想を、どのように話していましたか？

ためになりよかった

・つまらなかった

・なにがなんだかわからなかった

・その他（ ）

#### 3. ふだん、性に関することについて考えていること、なやんでいること、お子さんの様子など、どんなことでもよいです、あったらご記入下さい。

性について(生理)話しておかなくてはいけないから学校でいっか話して(れるだろ)と「学校まかせ」になっていましたが、今日授業参観で話と聞き家帰り。おんがりと新たに主人も入れて「こんな話としたんネ」なんて「だから大事にするんぢよネ」とかいろいろ話が出来よかった。おかしな話ご協力ありがとうございました。男(女)

#### (1) 学級指導（性教育）指導案（3年）

##### ① 題材

体（性器）をきれいに

##### ② 題材の設定理由（略）

##### ③ 事前調査とその考察（略）

##### ④ 指導のねらい

生命誕生と深いかわりを持つ性器の名称とその機能について知らせることにより、今までより以上に、清潔を心がけ、大切にしようとする態度を養う。

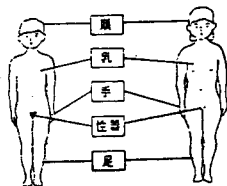
##### ⑤ 同和教育の視点（略）

##### ⑥ 生命尊重に関する指導の視点（略）

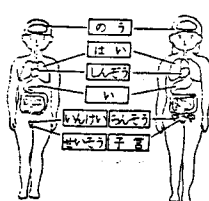
⑦ 展 開

指導事項	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点	資 料
体の汚れる ところと、 その理由	1. 体や性器のよごれやすい部分について話し合う。 ○体の汚れやすいところ ○お風呂に入るときに洗うところ ○性器の汚れるわけ	○体の清潔から、話を性器に移すために、体の汚れやすいところから排泄器官・性器に向かう。 ○性器について初めは児童から出た言葉で話し合う。 ○性器と排泄器官の関係で考えさせる。「性器」の名称を教え、本時の課題を明確にさせる。	人体図
性器を大切に する必要 性	2. 性器のしくみについて話をきく。 ○男女の体の輪郭→排泄器官→性器へ ・男性器（精巣・睪丸） ・女性器（卵巣・子宮）  ○父・母となるための、大切なところ ○性器を大切にするわけ	○性器の各部の名称を知らせる。機能構造に深入りしない。 ○精巣は赤ちゃんのもとを作るところ ○卵巣は赤ちゃんの卵が生まれるところ。子宮は赤ちゃんの育つ部屋としておさえる。 ◎生命誕生に深い関係のあることに気づかせる。 ◎性器を大切にすることは生命を大切にすることに、気づかせる。	男性器の TP③ 女性器の TP④
性器を大切に する方法	3. 性器を大切にする方法について話し合う。 ○入浴 ○下着のとりかえ ○用便後のふき方 ○汚れた手でふれない ○乱暴に扱わない ○みだりにみせない	◎事前調査結果グラフをヒントに… ○性器は傷つきやすいこと ○用便後の良い始末の仕方 ○みだりに見たり、見ようとしない ○友達の性器も、蹴ったり打ったりしないよう注意する。	○事前調査 結果グラフ ・下着入浴 ・手洗い他 赤ちゃんの 人形
実践の意欲 づけ	4. 学習して分かったこと、気をつけたいことを作業用紙に書く。	○記入を通し実践の心構えを持たせる。 ○3名発表、他児童への意識を広げるようにする。	作業用紙 清潔カード

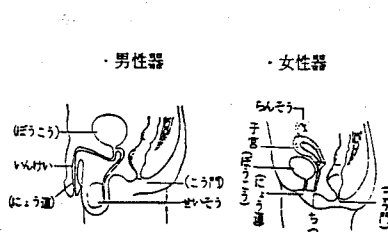
① 体の各部の名称部



② 体の各部の名称部



③ 男性器・女性器

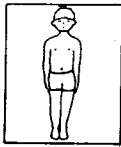


母体内の赤ちゃん



(2) 主な発問・説明と資料・板書

性教育の授業は、資料が多い上に、説明も難しいところがある。指導案だけでは、どう展開するのか分からない面がある。そこで、資料を出すタイミング・説明の程度・発問などを、次のようにまとめた。こうすることによって、他のクラスでも、同じように授業ができるようになった。

資料・板書	主な発問と説明
<p>・体をきれいに ※体(性器)</p> <p>・人体図</p>  <p>頭 胸 おしり</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px 0;"> <p>体( )をなぜきれいにするのでしよう</p> </div> <p>・男女の裸体図① ・ " ②</p> <p>・名称・貼布 (頭、胸、首など) (のう、心臓など)</p> <p>・男性器のOHP</p> <p>・名称</p>	<p>1. 今日はこのことを勉強します。読んで下さい。 (人体図)・名称をきく</p> <p>・汚れやすいのは、どこですか。 ・なぜ汚れるのですか。</p> <p>・お風呂に入る時、初めに洗うのはどこですか。(パンツをとる)</p> <p>・なぜ、おしりを洗うのでしょうか。</p> <p>・体の中で、なぜおしりを洗って入るのか、考えることにします。</p> <p>・初めに体を調べます。(男女の裸体図①貼布)</p> <p>・名称を話し合いによって記入する。(カードを張らせてもよい)</p> <p>・ここは何と呼びますか? 「性器」といいます。(教える)</p> <p>・ここを、どうして清潔にしなければならないのか。( )に「性器」を考えを言って下さい・・・うんち、おしっこだけではありません。もっと大切な、わけがあるのです。体を外から見ても分かりません、内側から見ることにします。(裸体図②貼布)</p> <p>・何とよびますか、(名称貼布) ・どんな働き(役目)をしますか。</p> <p>◎→「性器・分かりませんね。性器も内蔵と同じに、大切なはたらきをしています。分かる、大切にするわけが(目標)が分かります。お医者さんになったつもりで、勉強しましょうね。(男性器TP③)</p> <p>2. &lt;男性器の説明&gt;</p> <p>・初めに男性器について調べます。①こうもん ②ぼうこう</p> <p>③にょう道の説明(男女共通)</p> <p>④いんけい、男のシンボルです。かわいい名がついています。読んで下さい。「ペニス」</p> <p>◎⑤精巣・男の性器で一番大切なのは、この精巣です。男の急所です。けられると痛い。大切なわけは～(おもむろに)～みんなが大人になった時、お父さんになった時(やめるかなー)ここで、実は“赤ちゃん”のもとが作られるのです。</p> <p>・(母から生まれるけれど、父ににているわけにもふれる)</p> <p>&lt;女性器の説明&gt;</p>

女性器のOHP  
同、名称

(生命)  
性器—赤ちゃんを生み  
出すところ  
—生命を大切にす  
ることは……  
……  
女胎内の胎児OHP

性器を大切にす  
る方法

ア 下着を……  
イ お風呂に入ったら  
ウ 汚れた手～手洗い  
エ 乱暴には……  
オ ……………

- ・①～③ 男性器同様、かんたんに話す。(性器でないことにも…)
- ④卵巣：男の精巣に対して、女にあるのが「卵巣」です。ここでは赤ちゃんの卵が作られます。この卵と、赤ちゃんのもと(男)がいっしょになると、赤ちゃんが出来るのです。皆さんが大人になって、赤ちゃんが欲しくなった時にはたらく、大切なところです。
- ⑤子宮：赤ちゃんの卵は、ここ「子宮」で育ちます。お腹の赤ちゃんの部屋ですから「子宮」というのです。子宮の中は、お風呂のように、あたたかいお湯みたいで、赤ちゃんは其中で10か月、大きくなり、3kgぐらいになると、生まれてきます。赤ちゃんが外に出る時通る道が、この⑥「ちつ」です。
- ・赤ちゃんが、おなかの中で育っているところ、見せましょうか？
- ・(劇的に)母体内の赤ちゃん(OHP)映す。子宮のちがい。胎内に居られなくなって出た時が“誕生”であること。
- 3. <大切にする方法と実践化>
- ・さあ、どうして性器を大切にしなければならないのでしょうか。
- ・不思議ですね。男と女、この2つの体から、全く別の新しい生命をもつものが生まれるのです。
- ・新しい生命を生み出すところは体のどこかな。生命をつくり出すところを、そまつに出来ますか？
- ・生命をつくり出すところ「性器」、実に柔らかく傷つきやすいのです。
- ・では、どうやって、大切にしていきたいか、考えを言って下さい。
- ・(話し合ってまとめる)・用便後のふき方については、赤ちゃん人形で実演する。
- ◎それでは、今日勉強して、わかってうれしかったこと、これから気をつけたいことを書いて下さい。(以下、略)

<板書>

人体図  
パンツ  
付(はずす)

体(性器)をなぜ  
きれいにするのでしょう

男の裸体図 女の裸体図  
(初め 裸体図)  
(次に 内臓図を上)

性器

・赤ちゃん=生命を  
生み出すところ  
・つくり、育てる  
↓  
大切にする =生命を  
大切にする

性器を大切にする方法

ア 下着を……  
イ お風呂では……  
ウ 用便後は……  
エ よごれた手で……  
オ らんぼう……

## 1. 児童の反応

### A. はじめて知ったこと

- ア. ぼくが、はじめて知ったことは、精巣は、大人になって大切なもので、女の人が子どもを生むために、なくてはならないものだと思った。
- イ. ぼくが、はじめて知ったことは、男や女にも性器があって、その性器が赤ちゃんのものになるということです、男には精そう・いんけい、女には、らんそう・子宮があることが分かりました。男にも、赤ちゃんのものでできることを知りませんでした。
- ウ. おとうさんの性器に、赤ちゃんのもつがあるなんて、知りませんでした。
- エ. 生まれた赤ちゃんが、もとは性器とかでできるなんて知らなかった。お父さんの性器がなければ、お父さんに、にいていないのだなと思った。

### B. これから気をつけたいこと

- ア. ぼくはこれから、性器を大切にしようと思います。あと体も大切にします。ぼくは、毎日お風呂に入りたいと思います。ぼくは、最初に性器をあらってから、入りたいです。友達も性器も、けらないようにします。
- イ. これからは、女の子たちとけんかをしない。男の子どうしてもけんかしない。性器は、いのちができる所なので、よごれた手でさわらない。
- ウ. わたしは、男の子の性器のところを、けるので、これから、けらないようにします。
- エ. プールを出た後で、性器を見たり、見せたりしては、いけないことだと思った。

以上は、授業後の5分間に書いたものである。男女とも、いちばん驚いたのは、男の性器のはたらきである。中途半端・興味本位、そしてタブー視されていることから、真実を正しく知らされていないことが、うかがわれ。正しく知ることによって、性器の大切さを、素直に心から、納得したように思う。

### C 子どもの日記より

- ア. 今日の3時間めに、先生方が授業を見に来ました。2年のとき教えてくれたM先生もいました。久しぶりなので、少し、はずかしかったです。ほかの先生も、たくさんいたので、きんちょうしました。

体のことを勉強しました。体の中のものの、いろいろなことが分かりました。名前もいろいろ分かりました。男子は、赤ちゃんのものを持っていることも分かりました。お母さんが、わたしのことを、お父さんに、にいてると言います。弟は、お母さんに、にいてるといいます。どうしてお父さんに、にいてるのか、よく分かりました。

- イ. きのう、性教育をやりました。わたしは、性器というのと、精そうと、ペニスを初めて知りました。ほかの名前は「わたしたちのたん生」という本に書いてあるので、知っていました。家で、お母さんとおねえちゃんに「先生が言ってたけど、いんけいよりペニスの方が、かわいいって……」といたら、



「かわいいなんて、関係ないよ」といって、わらっていました。「ペニス、知ってる」と聞いたら「知ってるよ」といいました。わたしが、お父さんに問題を出しても、知ってるものばかりで、つまらないなあと、思いました。

### 保護者の反応 「おうちの方へ」からの反応

- ア. 授業の事になると、まだピンと来ないようです。自分がそうなるのは、ずっと先のことだと思っているようです。
- イ. いろいろな事、聞きたがって困ります。少しずつ、私なりに教えていこうと思います。
- ウ. あまり話し合った事が有りません。これから聞かれたら少しずつ話します。  
先生の授業（4の1）とても素晴しかったので、感動しました。どうも有難うございました。
- エ. 性（生理）について、話しておかなければと思いながら、学校で、いつか話してくれるだろうと思っていました。今日、授業参観で話を聞き、家に帰り、すんなりと、改めて主人もいれて「こんな話をしたね」なんて。「だから大事にするんよね」とか、いろいろ話が出ました。  
おかげ様で、ほんとうにありがとうございます。
- オ. この授業を受けて、とても感動したそうです。家庭では、なかなか指導できませんので、こういう機会を何度かもってみたいです。

以上は、1.お子さんは、授業のことを話しましたか、と 2.授業の感想を、どのように話していましたか、のアンケートの後、保護者の感想を書いたもの。親子の対話をねらったもので、家庭によって、受け止め方のちがいが大きいことに、驚かされた。

### 教師の反応（交流研究会で他校から来られたもの）

- ア. 本日は、ありがとうございました。  
私事です、一昨年初めて出産を経験し、この喜びや大変さ、母になるすばらしさを、子どもに、少しでも伝えられたらなあと、育産休中、思っていました。私達が受けた性教育は、5年生くらいの時の、初潮教育程度だったと記憶しています。やはり、大人である先生、お父さんである先生、お母さんである先生が、その体験を生かし、1年生の時から、ふだんの話に折り込みながら、性や生命を気軽に話せる雰囲気作りが大切だと思います。  
その上で、本日のような、きちんとした授業を段階的に行えば、性は、いやらしいと考える暗い気持ちなど、なくなると思います。ありがとうございます。
- イ. 授業を見させて頂き、ありがとうございました。  
豊富な資料の準備に、研究の深さを知ることができました。そして、資料の生かし方が、どの授業もすばらしく、参考になりました。学年でおさえる内容が明確で、勉強になりました。
- ウ. 3年生の授業を見せていただきました。  
興味本位や、恥しさにとらわれないようにするため、「お医者さんになった気持ちで」とか

「みんな、お父さんや、お母さんになる」とか、「自分のものなのに、知らないのは、はずかしい」などと、言葉かけを数多くし、その中にも、明るさを失わないようにするテクニックを勉強させていただきました。

学校に帰りまして、授業実践に役立てたいと考えています。

エ. 豊富な資料と、養護教諭の協力によるすばらしい展開をみることができました。また、1時間の授業の前にも、指導がなされており、積み重ねを感じました。その上、各所に生命尊重を意図し教師の発言があり、性教育との深いつながりを見ることができました。

性教育は、生命尊重の基だと思いました。

オ. 子どもたちの授業に取り組む様子は、とっても自然であり、また意図的だったと思います。数々の資料は吟味され、適切に使用され、効果的でした。

つい性教育は、やりにくいと思い、敬遠されがちですが、やはり取り組むことが、大きな成果を上げることになると思います。資料等、もし、お貸しいただけるなら、機会を見て……などと、調子のいいことを思いながら拝見させていただきました。有難うございました。

この日の交流研究会には、他校から24名の先生方が参観されました。授業を見るだけで、午後の話し合いには、ほとんど参加されませんでした。それでも、本校で意図した内容をきちんと受けとめていただいたように思います。

参観された先生方の感想で、多いのが資料の豊富さ・活用の適切さだったと思います。この日の中心テーマは、生命尊重の位置づけでしたが、それにせまるためには、資料と、その説明に意をそそいで研究した訳です。

高学年では、効果を高めるために、養護教諭の授業参加を折り込みました。専門的な内容をその道で苦勞された人の話に、授業が一段と深まっていったのは、言うまでもありません。

なお、資料については、今までに3校から貸し出しの申し出があり、お貸し致しました。

### 3. おわりに

テレビのスイッチを入れると目にとび込んでくる性描写の場面。そのほとんどは、痴漢・誘拐等の性犯罪の場面であり、性を悪戯や笑い物として歪曲されたものである。好むと好まざるとにかかわらず、とびこんでくるこれら性情報を、子どもはいったい、どう受けとめているのだろうか。

過剰気味に入ってくるこれら性情報の一方で、小学校の高学年ともなれば、その体の内部に、成長の兆しでもある性本能が胎動してくるのである。外部から受ける性の犯罪性と、自己の中に入りこめく本能を交錯させる中で子どもは、おそらく性を己の中の悪しき一面の表れと考え、自己嫌悪に苦しむのではないだろうか。

性は、決して悪魔ではない。本来は、生命誕生という神聖にして美しいものであるのに、子どもが、そうした場面に出合うことは、極めてまれである。

性教育は、こうしたマスコミが流す悪しき性に対し、それを180°逆の、尊くして美しいものへと導く役割を擔っているのかも知れない。

4年生の性教育「生命のたん生」で、ある母親の手記として、次の資料が使われた。

わが子へ

あなたが、おなかにいるとわかった時、お母さんは、うれしくてうれしくてまりませんでした。お父さんといっしょに待ち望んでいた愛の命ですから。

でも、お医者さんはお母さんに「子どもを産むのは、あきらめなさい。もし産んだら、お母さんも赤ちゃんも、2人とも助からないかもしれません。」といました。

せっかくお母さんの中に生まれた小さな命を、大切に育てたいと、お父さんといっしょに何日も話し合いました。そして、お母さんの命に代えても、あなたを産もうと決心したのです。

何日も、病院のベットの上で………（後略）

また、授業の中で女の先生が、自らの胎内に宿した子どもと言葉を交わす場面が語られたこともあった。また、家族みんなが、新しい生命を育むための心遣いに触れ、自分が、どれ程大切にされてこの世に生を受けたかに、心をゆり動かされる場面もあった。

性機能を教えるだけが性教育でないのは勿論である。性を生命の源として、親子、家族の根源として、神聖なものとして受けとめさせたいと思う。

こうした大切な内容と役割を持つ性教育ではあるが、それが行われないことには話にならない。

ここでは「どうしたら性教育がやれるのか」ということで、今までの実践をたどってみた訳である。教師にもある抵抗感、それを乗り越えるには、やはり学校体制の確立が最も大切だと思われる。そしてその中に、父母や子どもをとりまく大人たちの関心を高め、それぞれの立場で補完する形で協力しあうことが、継続への近道だと思う。

## 評

葉鹿小学校の性に関する指導は、生命尊重・人間尊重を基盤として、授業実践によって推進されていることが、大きな特徴である。つまり、かつての純潔教育や性器教育などの狭い意味での性教育から脱皮し、人間教育の一環として指導するという考え方に立っていることである。

そこで、本校の実践の基本的な柱について述べてみたい。

まず、教育計画の中に位置づけ、学校教育全体から性に関する指導をとらえようとしていることである。このことをふまえて、現職教育の中で、授業実践を通して課題を解決しようとしていることである。

次に、実践の中に、保護者との連携を位置づけ、指導していることである。性に関する指導を推進していく際のひとつの壁は、個人差という児童の実態である。一人一人の発育・発達の違いに応じるためには、保護者の協力や指導を抜きにしては考えられないと考えられる。学校と家庭のパイプをしっかりと設定し、一層の効果を高めようとしていることである。

三つめには、全職員による資料の開発である。研究授業に向けて、資料の作成をする。そして、授業を実践する。さらに、授業研究を通して、資料の改善に努めていることである。養護教諭も、これらの過程に参画し、資料の作成や保管をしていることである。

葉鹿小学校の研究実践が、各学校において大いに活用され、性に関する指導が、さらに充実されることを期待する。